

試合番号 : 356	試合会場 : 日立市池の川さくらアリーナ	観客数 : 913
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:30	試合時間 : 01:30
主審 : 桑原 健輔	副審 : 津嶋 由香	
日立Astemoリヴァーレ 通算 4勝 5敗 ポイント : 11	25 第1セット 23 25 第2セット 19 25 第3セット 17 第4セット 第5セット	岡山シーガルズ 通算 2勝 7敗 ポイント : 7
監督コメント ホームゲームで勝利できたことを嬉しく思います。第1セットの立ち上がりからなかなかディフェンスができず苦しい時間帯が続きましたが、途中から入った選手が流れを変えてくれました。第2セット以降はディフェンスでねばり、良い展開でオフェンスを繰り出すことができました。会場が作り上げてくれた雰囲気も最高でした。2日間心強い応援ありがとうございました。これからも共に戦ってください。	3	0
要約レポート 第1セット、岡山シーガルズはセッター宇賀神が、的を絞らないトスワークで攻撃を組み立てリードを奪う。日立Astemoリヴァーレは、長内、オクム天庭を中心に攻めて終盤に追いつく。日立Astemoはリリーフサーバーで投入された高間のレシーブから流れを掴み、セットを取った。第2セット、勢いに乗る日立Astemoはセンターのタツタオ、渡邊がスパイクを決めて点差を広げる。岡山は佐伯や交代で入った中本がサービスエースを決めて反撃を見せるが、追いつくことはできず日立Astemoがセットを連取した。第3セット、後がない岡山は佐伯、長瀬らが力強いスパイクを放つも、日立Astemoはバベロ齋藤を中心とした守りで得点を許さない。攻撃もテンポよく決まり一気に得点を重ねる。追いつく岡山を振り切り日立Astemoが勝利した。		

試合番号 : 357	試合会場 : 四日市市総合体育館	観客数 : 609
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:55	試合時間 : 01:55
主審 : 森口 豊	副審 : 佐々木 伸子	
トヨタ車体クインシーズ 通算 6勝 5敗 ポイント : 18	19 第1セット 25 25 第2セット 18 9 第3セット 25 9 第4セット 25 第5セット	埼玉上尾メディックス 通算 8勝 3敗 ポイント : 24
監督コメント 上位に食らいつくために何としてでも勝ちたいゲームでしたが、1-3と悔しい敗戦となりました。第3セット以降、サイドアウトが取れず、相手のサーブに苦しめられました。また、状況による戦い方と試合中での変化に対応する力をもっとつけなくてはならないゲームでした。本日もホームゲームの応援ありがとうございました。来週には天皇杯がありますが、しっかり修正して戦いますので、引き続きよろしく願います。	1	3
要約レポート 埼玉上尾メディックスとホームで連勝を飾りたいトヨタ車体クインシーズの一戦。第1セット序盤、埼玉上尾は仁井田を中心とした攻撃で流れをつかみ、得点を積み重ねる。対するトヨタ車体は鳴原、ファンヘッケにボールを集め抗戦するが、埼玉上尾はロゾの活躍もあり勢いを保ったままこのセットを先取した。第2セットは埼玉上尾ロゾの攻撃が要所で決まり得点するも、トヨタ車体は鳴原の連続得点を含む攻守の活躍によりこのセットを取り返した。第3セット、埼玉上尾は仁井田、ロゾ、対するトヨタ車体はファンヘッケ、大川の攻撃を中心にゲームを組み立てる。一歩抜き出たのは埼玉上尾。岩崎のブロックやツーアタックにより勢いに乗ると、その後は一方的な展開となり、埼玉上尾がこのセットを奪った。第4セット、埼玉上尾・岩崎がトス、アタック、ブロックと大車輪の活躍。トヨタ車体も懸命の守備をみせるが、多彩な攻撃を続けた埼玉上尾がセットカウント3-1で勝利した。		

試合番号 : 358	試合会場 : ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)	観客数 : 538
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:40	試合時間 : 01:40
主審 : 原 啓之	副審 : 長崎 有紗	
東レアローズ 通算 4勝 5敗 ポイント : 11	25 第1セット 23 25 第2セット 23 25 第3セット 19 第4セット 第5セット	PFUブルーキャッツ 通算 2勝 7敗 ポイント : 6
監督コメント 本日もたくさんのご声援ありがとうございました。みなさまの前で、勝利できたことを喜ばしく思います。昨日の反省をいかし、勝利に対する執念をもって粘り強く戦うことができました。気迫のこもったプレーを毎試合できるように、日頃からしっかり取り組んでいきます。	3	0
要約レポート 第1セット、序盤は東レアローズの新加入のヌワカロールとタナパンのスパイクやブロックの連続ポイントで先行。中盤から終盤にかけてPFUブルーキャッツもジャンや志摩のスパイクなどで追いつけるも、最後は東レ吉野のスパイクが決まり、東レが第1セットを先取る。第2セット、関の多彩なトスワークにより東レが先行。第1セット同様中盤から終盤にかけてPFUは志摩や大村のスパイクで食いつくが、最後は吉野のスパイクが決まり東レがセットを連取した。第3セット、両チームの攻守がひかり、長いラリーが続く。東レはヌワカロールとタナパン、PFUはジャンと志摩の点の取り合いが続く中、東レは中盤吉野の1枚ブロックから波に乗り突き放す。最後はヌワカロールのスパイクが決まり、東レがセットカウント3-0で勝利を取めた。		

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
主審 :	副審 :	
通算 -勝 -敗 ポイント : -	第1セット 第2セット 第3セット 第4セット 第5セット	通算 -勝 -敗 ポイント : -
監督コメント		
要約レポート		